



四国山地の東端を流れ、勝浦盆地を形成する、清流勝浦川



3万体のひな人形が並ぶ「人形文化交流館」をはじめ、勝浦の街道筋がひな祭り一色となる。

【問い合わせ先】
人形文化交流館 TEL0885-42-4334



全長約1kmの小川の両側に桜街道でのさくら祭りに人々が集う。

【問い合わせ先】
勝浦町役場 TEL0885-42-2511



ちよぞっ娘

DATA

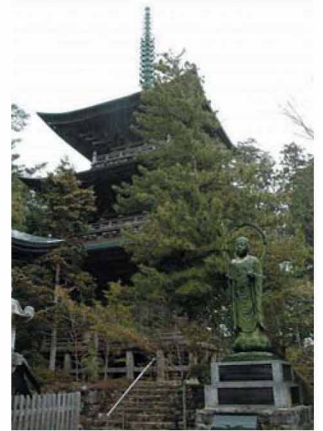
総人口 5,929人
世帯数 2,171世帯
面積 69.80km²
人口密度 84.9人/km²



勝浦町

かつうら ちよう

回帰の旅へ
みかんが香り 笑顔あふれる 元気なまち



霊鷲山宝珠院 四国霊場20番札所「鶴林寺」は標高約500mの難所で、県下唯一の三重塔が聳えている。

町の中央を流れる勝浦川は、剣山系に源を発し、紀伊水道に注いでいる。春はアメコ、夏はアユが清流に舞い、季節ごとに太公望たちが竿を並べる。また、阿波みかんの産地として知られ、秋には勝浦盆地が「みかんが光る素晴らしい黄金郷」となる。

古くから四国霊場20番札所「鶴林寺」の門前町として賑わい、阿波人形浄瑠璃の活動も盛んで、現在は3万体のひな人形を飾った「ビッグひな祭り」や、1kmの桜街道での「さくら祭り」、「与川内はたる祭り」、「かつうら元気市」など、数多くのイベントを行う笑顔あふれる元気な町である。

激りの里

祭イベントなど、
新旧とりまぜて祭り好き血は激る

勝浦町には様々なイベントがあるが、会場の中央に100段のピラミッド状のひな壇を始め大小300段のひな壇に、約3万体のひな人形が飾られる「ビッグひな祭り」は、全国に春を告げるイベントとして知られ、世界各国へひな人形が嫁入りするなど、国際交流の輪も広がっている。

舟底舞台と呼ばれる転換構造を持つ、全国的にも珍しい農村舞台で、定期的に阿波人形浄瑠璃が公演されている。

